

Green

日南町森林組合広報誌

2025.10月号
vol.164

Community

グリーン・コミュニティー



特集記事
活動報告
話題

日南町の林業を支える人 ほか
お知らせ ほか

P2~
P4~
P6
P7
P8

カラマツの安定的な苗木生産を目指して



特定母樹採種園整備事業

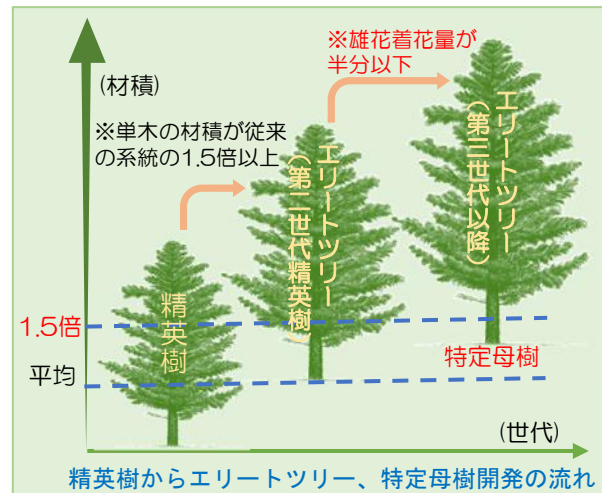
1. はじめに

令和3(2021)年度、(株)ウッドカンパニーニチナンとともに建設した日南町樹木育苗センターでは、住友林業(株)の技術提供を受けながら、令和4(2022)年度からカラマツ、少花粉スギなどの優良苗木の生産を開始しました。鳥取県では、木材需要の増加に対応して、丸太生産量を2019(令和元)年度の31万立法メートルから2030(令和12)年度には50万立法メートルに増やす目標を定めており、コンテナ苗の需要は益々増えていくものと考えています。

2. エリートツリーと特定母樹

わが国では、昭和30年頃から、スギ・ヒノキ・カラマツといった主要な林業樹種で、①成長等の形質が特に優れた樹木を「精英樹」として選抜しました。この精英樹を試験林に植栽して、精英樹の中で、木の高さや太さといった成長記録が上位だったもの同士を交配して得られた後代の苗木を、再度植栽し、②その成長記録や幹の強度(ヤング率)を改めて調べ、上位のものを「第二世代精英樹」として選抜しました。

エリートツリーとは、こうした成長に優れたものを選抜したものの総称で、特定母樹とは、今後の森林整備に用いる苗木を生産するための母樹として、「森林の間伐等の実施に関する特別措置法」(平成20年法律第32号。以下、「間伐等措置法」という。)に基づき、農林水産大臣が指定したものです。③単木の材積が従来の系統の1.5倍以上で、雄花着花量が半分以下といった基準が設けられており、成長に優れたエリートツリーは、今後、特定母樹として、普及が進んでいくことになります。



3. 特定母樹の普及の流れ

本町における人工林の面積は20,485haで、10齢級(林齢46~50年生)以上の伐期齢の林分が14,012haとその68%を占めており、今後、皆伐再造林を中心とする施業が求められています。しかしながら、主伐後の植栽と保育施業に多くのコストと労力が必要になるため、そのことが、皆伐再造林が進まないひとつの要因になっています。そうした中、一般的な苗木より早く成長する特定母樹やエリートツリーは、下刈りなどの保育施業を削減できることから、国を挙げて、その普及が進められています。

4. 日南町特定母樹採種園が目指すもの

令和5(2023)年から5ヵ年計画でカラマツの特定母樹の植栽を開始した日南町特定母樹採種園(約2.5ha)では、令和9(2027)年には1,070本の特定母樹の植栽を終える予定です。カラマツはスギやヒノキに比べ、初期成長が良く、下刈り等の保育期間短縮による保育施業の低コスト化を図ることができます。また、これまでの主な造林樹種であったスギ・ヒノキと比較すると、短期間で伐採でき、木材加工業界からも高強度の国産材として期待されています。

日南町特定母樹採種園で生産した種子を使用して、日南町樹木育苗センターで苗木を生産し、わたしたちは、次世代の林業づくりを核とするグリーン成長の実現を目指します。

【参考文献】季刊「水源林」第8号 2023.3「エリートツリー・特定母樹の普及に向けた取組について」
(国立研究開発法人森林研究・整備機構センター刊)

安全で快適な生活を送るために



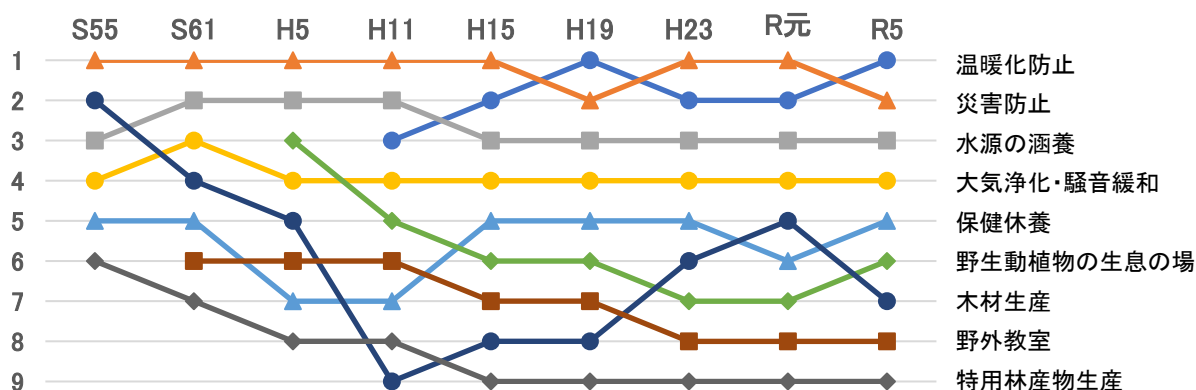
森林の有する公益的・多面的機能

1. はじめに

私たちにとって、森林は、資源としての木材生産やきのこなどの林産物を生産する場となっています。また、国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、生物多様性の保全といった多面的な機能も有しており、それらが機能することで国民生活に様々な恩恵をもたらす「緑の社会資本」です。

2. 国民のみなさんが期待される森林の働き

国民のみなさんが森林に期待する働きは、下図のとおり、温暖化防止、災害防止、水源の涵養などといった公益的機能が上位を占めています。



資料：総理府「森林・林業に関する世論調査」(S55),「みどりと木に関する世論調査」(S61)
「森林とみどりに関する世論調査」(H5),「森林と生活に関する世論調査」(H11)
内閣府「森林と生活に関する世論調査」(H15,H19,H23,R元,R5)

3. 日南町の森林が有する機能の定量的評価

林野庁は、数値化できる森林の一部の公益的機能の評価額を年間概ね70兆円と公表しています。その公表数値をベースにして、日南町の森林の持つ公益的機能を単純に森林面積だけで按分した評価額（個別事情を反映させるための補正係数の定義がないため）は約853億円となり、これは町の一般会計予算の10数年分以上に相当します。国民生活及び国民経済に大きく貢献している森林の持つ公益的機能については、もう少し評価されるべきと考えます。

機能の種類	国内全体	日南町	機能の説明
①土砂災害防止／土壌保全	36兆6,986億円	445億7,240万円	土砂の流出、崩壊を防ぐ役割
②水源涵養	29兆8,454億円	362億4,880万円	降水を貯留し、水質を浄化する役割
③保健・レクリエーション	2兆2,546億円	27億3,830万円	余暇を過ごす場として果たしている役割
④地球環境保全	1兆4,652億円	17億7,960万円	二酸化炭素を吸収し、酸素を吸収する役割
⑤木材生産など	評価方法未定	-	木材、山菜などを産出している役割
⑥生物多様性保全	〃	-	生物の生育、生息の場を提供している役割
⑦快適環境保全	〃	-	飛砂、騒音、塵埃等から住環境等を守る役割
⑧文化	〃	-	景観や歴史的風致を構成する等の役割
計	70兆2,638億円	853億3,910万円	

6/26 林業労働災害研修



林業・木材製造業労働災害防止協会主催の「林業労働災害VRシミュレータ研修会」が林業センターで開催され、当組合職員ら23人が受講しました。

「林業労働災害の発生状況と安全対策」（講師：㈱フォレストプランナー 石山浩一氏）と題した講演では、立木伐木等に伴う労働災害の発生状況の対策など、目指すべき安全衛生管理のあり方を学び、VR (Virtual Reality=仮想現実) シミュレータ体験では、専用のゴーグルを装着して災害事例を疑似体験し、安全作業に対する意識の向上を図りました。



VRシミュレータ体験

7/5 NXグループ共生の森活動



神戸上地内の「NXグループの森」において、NIPPON EXPRESSホールディングス㈱グループの社員とご家族ら35名が、通算26回目(内、中止3回)の森林保全活動を実施されました。

同社は、環境社会貢献活動の一環で、年2回、植樹や下草刈りなどを実施、これまでに約800人が参加され、約5,500本の苗木を植樹しておられます。

この日の作業は、下刈り作業と苗木への獣害防止用保護カバーの取付けでした。わたしたちは、こうした活動を鳥取県・日南町とともにサポートしています。



シカやノウサギによる食害を防ぎます

7/17 鳥取県職員視察研修



当組合の循環型林業の取組みを視察し、今後の業務の参考にしたいと、県の若手職員ら19名が来町されました。まず、町の林業の実情と循環の森林づくりについて説明を行い、次に、㈱ウッドカンパニーニチナンの秋末社長に、樹木育苗センターを案内していただきました。

視察終了後には、「森林資源の有効利用と県産材の需要拡大に向け、県として何ができるのか考えていきます」と力強い言葉もいただきました。木材利用が高まるような新規事業の策定を楽しみに待ちます。



7/30 伐木CS審判講習会



10月(18~19日)に本県で開催される第4回日本伐木チャンピオンシップの大会運営をサポートするため、当組合の職員5名が審判講習会に参加しています。

この大会は、林業の新しい魅力の発信と新規林業就業者の拡大等を目的に、5つの競技種目で、チェーンソーによる高度な伐木技術を競います。とりわけ、今大会は、来春の第36回世界伐木チャンピオンシップ(於：スロベニア)に出場する日本代表選手の選出を兼ねた公認大会とあって、職員も懸命に審判員技術の習得に努めています。



8/1 白谷工房の寄木細工販売開始



「手話パフォーマンス甲子園」に出席された秋篠宮家の二女・佳子さまが身につけておられたり、今年4月には、台湾の人気アートギャラリーイベント「島作」に、鳥取県内の作家としては初めて出展されるなど、その温もりのあるデザインで人気が集まる白谷工房の寄木細工。

残念ながら全商品を取り扱うことはできませんでしたが、8月から、人気のある商品を中心に、その受託販売を森林組合でも開始しました。手にとって、あなた好みのアクセサリや文具をお選びください。

パレット



名刺入れ



ピアス



8/3 境港市民の山散策ツアー



境港市は、昭和56年に阿毘縁地内の山林86haを購入され、以降、水源涵養林として、積極的に「境港市民の山」の整備活動を行ってこられました。

前境港市長の安田貞栄氏(故人)は、著書「ひとすじに」の中で、「若い時に山に親しませ、せせらぎの音に心を済ませる体験を、ぜひさせてやりたい」と、境港の子ども達への思いを語っておられます。

この日のツアー参加者は24名。安田前市長の遺志は、今もこうして、海のまちと山のまちとの交流事業として継続しています。



8/4~5 フォレストワーカー研修



本町を会場に、フォレストワーカー集合研修(主催:鳥取県林業担い手育成財団)が開催され、県内各地の林業事業体から、新規林業就業者35名(当組合からは2名)が集いました。

これは、将来の林業技能者の育成を目的とする国の緑の雇用事業によるもので、3年間の体系的なプログラムで実施されています。福万来地内の組合施業地で行われた実技研修では、下刈り作業における作業前の準備、作業中の注意、作業後の後始末など、参加者は、安全な下刈り作業のポイントを学びました。



福万来地内での実技研修

8/7 名南製作所から社外研修に



8月7日から2日間、木工機械メーカーの(株)名南製作所(愛知県大府市)の新採社員ら3名が社外研修のため来組されました。

創業者の長谷川克次氏(故人)のご尊父が日南町出身であることから、ご生前、氏は日南町に格別の思いを抱いてくださっていました。この社外研修も、「お客さまが本当に欲しがっているものは何か?それを考え、製品化してきた」という氏の信条に基づくものだとお聞きしました。こうした謙虚で、地道な努力を怠らない同社の姿勢が、合板機械のトップメーカーでいられる所以なのだと思います。



(株)オロチを見学中の名南製作所のみなさん

世界最大の木造建築物「大屋根リング」



今年3月4日、大阪・関西万博会場のシンボルである「大屋根リング」が、世界最大の木造建築物として、ギネス世界記録に認定されました。「多様でありながら、ひとつ」という会場デザインの理念を表す大屋根リングは、109個の木架構ユニットを円形に繋いだ幅約30m、高さ約20m、内径約615m、周長約2kmの建築物です。日本の神社仏閣などの建築に使用されてきた伝統的な貫（ぬき）接合と現代工法を融合させて建築された大屋根リングは、壮大なスケールやユニークなデザインという視覚的な魅力だけでなく、木造建築ということで、圧倒的な存在感を誇っています。

閉幕後、このリングは、構造体を解体し、資材を再利用することになっていましたが、大阪府と大阪市が、跡地の再開発が先行する会場北東部の一部約200mを建築基準法に基づく準用工作物である展望台として活用していくことを日本国際博覧会協会に提案しているようです。展望台とした場合、防火対策が不要で、改修コストが抑えられるというのがその理由のようですが、そうすると、リング下部を店舗などで利用することができないため、今後、防火対策が必要になる建築物としての活用も検討していくとの報道もなされています。

大屋根リングを設計された建築家の藤本壮介さんは、「木材は持続可能な素材です。ここから、自然と調和しながら、共生していく社会という未来を発信していくことができれば…」と話しておられます。

木材が広範に使われた大阪・関西万博を機に、木造住宅の再評価による木材需要増大と循環型林業の確立による脱炭素社会の実現へと日本社会が転換し、木材利用の拡大という機運が高まっていけばと考えます。



圧倒的な存在感を誇る大屋根リング

“森の国・木の街”プロジェクト



今年4月18日、県内の木材関連事業者が連携し、中大規模木造建築に適した構法（鳥取モデル）の開発と実装を加速させることを目的に、(株)オロチなど県内の木材加工や建築資材の販売などを手がける企業らによって、「とっとり都市木造推進協議会」（会長：谷野利宏(株)ミヨシ産業代表取締役）が設立されました。

そして、7月1日、小泉進次郎農林水産大臣が「街の木造化を進めることは、森林が吸収した二酸化炭素を長期間貯蔵する等により、地球温暖化防止にも大いに貢献する。森の国らしい国づくりに向け、全国で街の木造化を加速する

“森の国・木の街”プロジェクトを立ち上げ、木材利用によるメリットを広く周知し、街ぐるみでの木材利用を推進する」と、これに答えるかのように、表明されました。また、昨年11月に来町され、このたび林野庁長官に就任された小坂善太郎氏も、同日の就任記者会見「全国で街の木造化を加速化させ、木材の利用拡大に取り組む」と述べておられます。

日南町の森林は、戦後から長い年月をかけて育林を行い、主伐期に入っています。国が掲げたプロジェクトに呼応しながら、50年先、100年先を見据えた森林資源の活用を図ります。



協力：林野庁林野図書資料館 イラスト：平田美紗子



山陰丸和林業(株)生山事業所
た べ い て る ゆ き
田部井 輝侑さん

Q1. 林業の仕事歴は？
大学卒業後に入社、4年目になります。

Q2. この仕事に入ったきっかけは？
日本の「木の文化」を絶やさないように、森林の利用と保全に力を注ぐという会社の企業理念に共感するところがありました。

Q3. 仕事の内容は？
木材チップの製造と販売です。入社してから、フォークリフトや林業機械の運転資格を取得し、作業現場でも働きながら、機械のメンテナンスなどもやっています。今は、上司から、「事務系の仕事もっと覚えてくれ」と言われています。

Q4. 林業の仕事についてよかったと思うところは？
そこまで話せる経験年数もないので…。

Q5. 熱中していること、または趣味は？
時間がある時には、ネット小説を読んでいます。

Q6. 今後の目標は？
事務系の仕事をマスターしていくことです。

今月の表紙写真にご登場いただいた田部井さんです。取材へのご協力、ありがとうございました。

理事会開催報告（協議事項等）

令和7年度第3回理事会 (令和7年6月23日)

《協議事項》

- ・ 株式会社日南町小水力発電公社について
※当組合は、株式会社日南町小水力発電所の株主です
- ・ その他



役員視察研修(7/30~7/31)報告



[7月30日]

地球・社会・人の持続可能性の実現に向け、“ひらこう、脱炭素社会。”をテーマに開催中の大林グループ総合展示会を見学しました。(株)大林組は、町内において、「ハイブリッド型苗木生産プラント」でのカラマツの苗木生産や林内での実証実験に取り組まれるなど、わたしたちとは良好なパートナーシップ関係にあります。会場では、建設におけるCO2削減技術から、資源環境、生物多様性といった建設を超えた領域での大林グループのさまざまな挑戦が、本町で撮影された動画も使いながら紹介されていました。

[7月31日]

日本館、ウズベキスタン館、オーストリア館、ハンガリー館、ポーランド館といった木造パビリオン、そして、世紀の木造建築「大屋根リング」と会場中央に設けられた「静けさの森」など、大阪・関西万博が、「木の万博」と形容されている理由を実感することができました。

わたしたち林業・木材関係業者にとって、これからの木造建築への向き合い方や考え方など、極めて示唆に富む研修となりました。



「知識が庭」がテーマのウズベキスタン館

FSC® 森林認証・FM認証の年次審査



8月20日から21日までの2日間、㈱アマタによるFSC® 森林認証（CoC・FM）の年次審査が行われました。審査評価は、①書類審査②現場審査③聴き取り（現場／事務）の3項目で、指摘された事項は下記の通りです。審査員からは、「町内の現場管理及び現場作業は、非常に丁寧に行われている」と評価していただきました。審査中の指摘事項については、速やかに対処していきます。

①CoC認証審査

- ・管理マニュアルの整理

②FM認証審査

- ・管理目的のモニタリングの実施
- ・ヒアリング対応の第三者の参加及び報告
- ・グループ管理規程の見直し
- ・ハチ抗体検査の実施状況の確認 など



出資配当金について

前号でもお知らせしましたが、出資配当金の支払い方法等は、次のとおりです。

- ①支払い期限は、**令和7年12月12日(金)**です。
- ②お支払いは、「**出資配当金受領申込書**」に振込口座（組合員ご本人の口座）を記載していただき、森林組合にご提出ください。ご指定の金融機関口座へ振込みます。
- ③支払い期限までに、出資配当金受取りの申し出がない場合、当人の出資金に振替えさせていただきます。なお、1口（500円）に満たない額は、出資預り金へ振替えさせていただきます。

組合員名義変更などについて

亡くなられた組合員の方の名義の変更がまだの方は、森林組合までご連絡ください。届出用紙をお送りします。引越しをされてご住所が変更になられた方もご連絡いただきますようお願いいたします。

担当 総務課

組合員数（令和7年8月末現在）
正組合員数 1,469名
准組合員数 6名

ご相談窓口

TEL 0120-988-928（フリーダイヤル）
受付時間/9:00～17:00（土日・祝日除く）

山についての相談はこちらにお電話を！

編集後記

7月27日、「よみうりにちなんミニコミ紙」創刊1,000号達成感謝の会が日南町総合文化センターで開催されました。

ようやく164号を発行したわたしたちからすれば、気が遠くなるような発行回数です。20年間、身近な情報を提供され続けた熱い信念に、心から敬意を表します。

次は、2,000号です。カメラ📷ぶら下げ、ペンを片手に、町内を🚗駆け廻ってください😊

ホームページ



Facebook



Instagram



発行元

日南町森林組合

〒689-5211

鳥取県日野郡日南町生山4 2 3 - 2

TEL 0859-82-0130 FAX 0859-82-0321

E-mail info@n-forest.jp.net

HP http://n-forest.jp.net